

クリーンな燃焼で環境にやさしい、独自の構造のごみ焼却設備「カワサキ・アドバンストローカシステム」のしくみ

高温の燃焼ガスとごみが並行に流れて完全燃焼する

ごみの焼却設備には近年、環境への影響をより少なくすることや燃焼エネルギーの高効率利用などが一層強く求められている。

こうした“時代の要請”に応えたのが「カワサキ・アドバンストローカシステム」である。ごみが高温で完全燃焼するのでCO（一酸化炭素）やダイオキシンなど有害物質の排出量が極めて少ない。また、少ない空気量で完全燃焼するので、環境へ放出するガス量も減らすことができる。さらに、ごみが燃え切り、未燃物を含まないクリーンな灰になるので、セメント原料などとして有効利用できる。

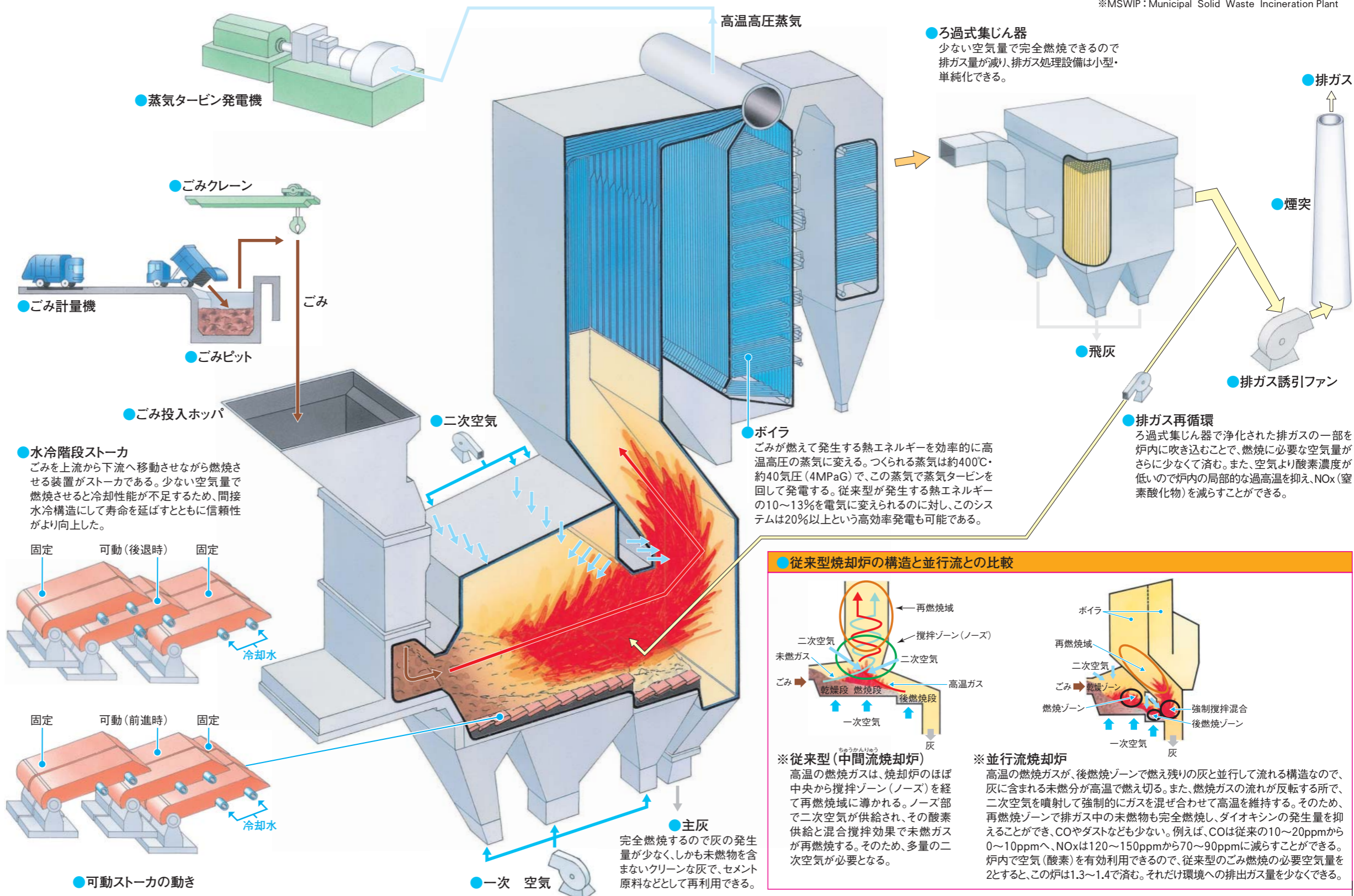
カワサキ独自の「並行流焼却炉」は、従来型の間流焼却炉と異なり、高温の燃焼ガスがごみと並行に流れる構造にしたことで、ごみを完全燃焼できる。

燃焼エネルギーで高効率発電しながら、維持管理が容易な設備

ごみが燃えて発生する熱エネルギーは、高性能ボイラで効率よく高温高圧の蒸気をつくり、蒸気タービンを回して高効率で発電できる。

ごみを上流から下流に移動させながら燃やすストローカは、一般家庭ごみを連続的に焼却するのに適している。また、間接水冷構造で長持ちするので、維持管理が容易な設備となっている。

この「カワサキ・アドバンストローカシステム」はすでに国内4件、海外3件の納入実績があり、国内で3件が建設中である。



「カワサキ・アドバンストローカシステム」の納入例



●岸和田市貝塚市クリーンセンター
1日のごみ焼却能力：531t（177×3炉）
発電能力：1万2,000kW
竣工：2007年3月



●枚方市東部清掃工場
1日のごみ焼却能力：240t（120×2炉）
発電能力：4,500kW
竣工：2008年12月



●韓国「亀尾」市MSWIP
1日のごみ焼却能力：200t（100×2炉）
発電能力：2,940kW
竣工：2010年12月

※MSWIP：Municipal Solid Waste Incineration Plant